



亜鉛建値1万2,000円引き下げ34万9,000円 12月の月内建値平均は35万1,400円

三井金属鉱業は11日、電気亜鉛建値を1万2,000円引き下げ34万9,000円と発表し、同日から実施した。2018年12月の月内建値平均は35万1,400円。

11日入電のLME亜鉛相場のセツルメントは2,678.00ドル、同日の東京外国為替市場の米ドルTTSレートは114.11円、この値で換算した採算価格は30万5,500円。建値と採算価格から見た諸掛りは4万3,500円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り(単位キロ当たり円、カッコ内は改定日)。

2018年

□7月	370(2)352(5)340(11)328(17)340(20)343(25)	平均345.6
□8月	349(1)340(7)298(16)307(21)334(27)	平均328.5
□9月	325(3)316(10)298(18)343(25)	平均320.5
□10月	352(1)358(4)346(12)355(23)352(26)	平均351.9
□11月	337(1)343(9)352(16)349(21)343(27)	平均343.4
□12月	352(3)361(6)349(11)	平均351.4

銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役
橋本 健一郎



11月のアルミ概況および12月の見通し (2)

◆貿易指標

輸出

財務省貿易統計によれば、輸出はアルミ新地金が前年比+50.6%の125 t、2次合金が+119%の2,401 t、スクラップが-19.8%の8,833 t、アルミ缶が+28.6%の6,968 t。

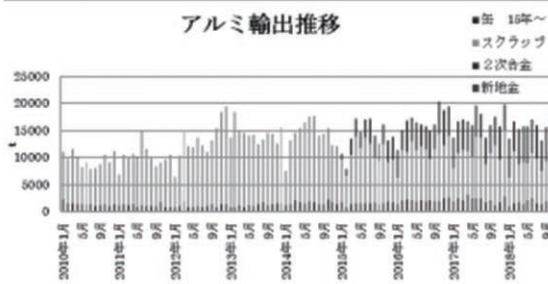
輸出	8月	9月	10月
新地金	99 t	151 t	125 t
前年比	+2.1%	-8.5%	+50.6%
2次合金	1199 t	1640 t	2401 t
前年比	-25.6%	-9%	+119%
スクラップ	6185 t	7458 t	8833 t
前年比	-12.8%	-15.4%	-19.8%
缶	5687 t	6286 t	6968 t
前年比	+17.3%	-21.3%	+28.6%

日刊金属 既刊収録サイト

<https://nikkankinzoku.co.jp/>



輸出推移



出典 財務省貿易統計

輸入

輸入は新地金が前年比+55.4%の17万1067 t、2次合金が+2.5%の11万2311 t、スクラップが+389.5%の2,051 t、合金スクラップは+7.2%の4,429 t。

輸入	8月	9月	10月
新地金	12万5213 t	10万6115 t	17万1067 t
前年比	-14.8%	-11.6%	+55.4%
2次合金	10万8036 t	8万9683 t	11万2311 t
前年比	+4%	-11.6%	+2.5%
スクラップ	1282 t	1461 t	2051 t
前年比	119.5%	+192%	+389.5%
合金スクラップ	3249 t	2672 t	4429 t
前年比	-13.3%	-14%	+7.2%

【次号へ続く】

LME認定倉庫在庫推移 11月26日~12月7日 (現地)

